

三重の

生きものたより

第39号



和名：ノコンギク

学名：*Aster microcephalus* var. *ovatus*

ノコンギクはキク科シオン属の多年草の花です。本州から九州に分布し、9月から11月に日当たりのよい野原や林縁に見られます。花の大きさは約2.5cmと小さいですが、花の色は淡紫色から紺色とさまざまで、美しく野を飾っています。また、ノコンギクの名前の由来は「野にある紺色の菊」というところからきているそうです。よく似た花に「ヨメナ」があり一見わかりにくいですが、花の中に長い冠毛があればノコンギク、冠毛が短ければヨメナです。また、ノコンギクの葉や茎は両面に毛がはえていてザラザラしていますが、ヨメナは毛が無く光沢があることで区別が出来ます。

この時期、道路脇の土手にたくさん咲いていて目を楽しませてくれます。